



2011. 11月号 vol.3

発行/株式会社 新日本エナジー-山口営業所



こんにちは。山口国体終わりましたね。私達の営業所がある吉敷周辺は天皇陛下が連日通られて凄い人の数でした。私の住んでいる湯田温泉も開催中は宿泊している選手たちで連日賑やか。そんななか結果は見事、チーム山口が総合優勝！開催前にはなんだかんだありましたが、終わり良ければすべて良しですね。22日から始まる障害者スポーツ大会も健闘を祈ります。それではエナジー通信 11月号スタートです。

所長津田が山口で活躍するプロの仕事人達にスパッと直球インタビュー

つだが聞く! No.3

GUEST

エイジェンシーセールスマネージャー 溝部 伸二 Shinji Mizobe

[メットライフアリコ 山口エイジェンシーオフィス]

〒745-0033 山口県周南市みなみ銀座1-1徳山大和ビル5F TEL 0834-21-5650

津田(以下T) 会社でもお世話になっています。メットライフアリコの溝部さん(以下M)です。宜しくお願いします。

T. 今の仕事をはじめたきっかけから教えていただけますか？

M. はい、前々職の先輩にあたる人がたまたまアリコジャパンに入っていておられて、保険の提案しに来られたのですが、そのころは保険には正直興味なくて、でも何回かその話を聞かなくて、まあちょっと時間を取って聞いてみたんです。なんだかんだ2年後位に、証書を見せてほしいって、あんまりうるさいんで、先輩なんだろうがなしに見せたんです。その時初めて、「あれ？」って思ったんです。自分が思っているのと違うなあと。実際に入っている保険が違うなって思ったのがきっかけで、初めて、保険をちゃんとしないといけないと思って、その保険に切り替えたんす。その後、これは良いものに入ったなと、こりゃあ伝えんにやいけんなど、思いまして、自分の会社の同僚だとか後輩だとか先輩だとかいろんな人に伝えてですね、紹介してあげたんす。後輩も多かったんで、私が言うんでまあしょうがなしに話は聞いてくれるんですが、なぜか紹介する人がみんな契約するんですね。その当時まだアリコジャパンってあんまり知らない人も多かったと思うんですけど、ほとんどの人が切り替えるんで、その当時のアリコジャパンの広報のマネージャーがお礼を言いに来られて、その時にうちで働いてみませんかというお話が有ってですね、それがきっかけで入社したんです。

T. 先程の自分が思っていた保険と違う点っていう何が違ったんですかね？

M. 保障っていうかですね、お金が掛け捨てではない保険に入っていると思ってたんす払っている保険料もちゃんと貯まってるんだらうなと。でも実際には貯まらなかった。保障もずうっとあるんだらうなと思っていたら、切れるっていうのが分かったんですね。一生運ではなかった。そして何年かごとに保険料が上がっていくっていう内容だったんですね。他の人が入ってるからと同じような感覚で入ってたんですね。だから何も根拠がなく入ってたってことですね。

T. 今お仕事されてる中で、一番気をつけていること、意識していること、自分の中心に据えていることはどういうところですか？



とにかくお客様の役に立つ、そこだけです。

M. 理念ですよ。私はとにかくお客様の役に立つ、そこだけです。そこだけを考えてます。生命保険を通じて役に立ってってことなんですけど、自分が出れることであれば役に立つ。

T. 私たちも何か役に立つことがないか、何か探してやっていこうってしてるんですが、若い子なんかはそう言われても、何をしたいかわからないとか行動に移せない、行動に繋がっていかないってことがあるんですね。最初の頃って、そういうことが浮かばなかったんじゃないかと思うんですけど見つけるコツとか、何かありますか？

M. お客様の生死だとか病気とか怪我だとかに直面することが多いんで。お客様が困った時ですね、入院ですとかそういうことが発生した時、いち早く対応してあげると。とにかく保険金をスピーディーに払うことが出来るようにしてあげるといいことを今は心がけているんで。翌日にはお伺い対応して手続きをするようにしています。

T. 今まで影響を受けた人や、転職になった出逢いとか有りますか？

M. この業界にも先輩方がおられますけども、私はお客様ですね。本当に今の自分があるのはその方たちのお陰だと思ってるので。

T. 溝部さんの夢という目標というのを教えていただきたいんですが。

M. 私の夢ですか(笑) 子供が、ほぼ手が離れてきたんで、今はやっぱりですね、妻をいかにして喜ばせるかと。そこだけですね。あとはこの仕事を出来る限り長く続けたいというのがありますね。この仕事は長く出来る仕事なんで、今年50になるんですけど、どうしても年を取ると若い方とのつながりがだんだん減ってくるんですけども、ただ幸いに私は若いお客さんが多いんで、まだ20年ぐらいは出来るかと(笑) そういう形でおお客様の役に立っていただければいいかなと、思っております。

T. 保険に入られている方より長生きしないといけないんですね。今の保険と違う保険。違いを伝えるとき、聞く耳を持たれなかったり、最初は聞く体勢をとるのが難しいと思うんですけどどうされてますか？

M. 聞く体勢ですね、日本人の方は保険が好きって言うか世帯加入率でいうと90%以上入っておられて、でもニーズとしては見直したいっていう方が6割以上いるんですね。みなさん保険は入っておられるんですけども、根拠がないんで。どういう根拠でその保険に入られたのか。逆に今お客様にお話しているのが、例えば、ひよっとしたら生命保険で必要ないかもしれないですよって話を良くするんですけど。それはなにかっていうと、公的年金の話をするんですけど、公的遺族年金にほとんどのサラリーマンの方だと加入されてるはずなんで、それがどれくらいあるか御存じですか、とかですね。もしそれがたくさんあれば生命保険に入る必要ってないですよ。でも多分足りないから入らないといけないんですけども、でも厚生年金で遺族年金が出ることすら知らない方がほとんどなんで、妻帯者の方で、奥様、子供様がいらっしゃる方には、やはりその部分ですね。生命保険とは別にすでに入っている保証が有るっていうのを御存じですかとか、聞き出しにくいのが一つですね。あとはガンだとかですね、そういう重大な病気になった時にですね。そういうときの為にどうされてるか。まだなっておられないんですけど、実際に私の身の回り起こっていることをですね。

T. ヒントになりました。

.....12月号へ続く

みんなのつぶやき広場

花田くんの巻



東日本大震災から7カ月経つ。その間政府首脳は変わり、震災復興を第一優先として掲げているが実際にはなかなか前に進んでいない印象が強い。約90年前の関東大震災では、震災の翌日には、帝都復興院が新設され、当時の内務大臣後藤新平大臣が復興の基本策を打ち出している。当時と現在では政治の仕組みも違うが、第3次補正予算を審議する予算委員会でも小沢氏の金権問題を追及する国会のあり方を見ているとその違いを感じざるを得ない。関東大震災が昭和恐慌を呼び込み財政を逼迫させ思まわしい太平洋戦争の道へ促進させた一因があることを考えると今回の大震災の影響も測り知れないものがあると思う。自分は震災で大切な友人を亡くし、その家族の涙を目の当たりにしながら、今日を生きる事で精いっぱい募金箱に小銭を入れることぐらいしかできない。不甲斐ない自分には、自分が票をいれた国会の方たちに託すことしかできない。なんとか頑張って一日もはやい復興を遂げられるよう道筋を付けて頂きたい。

RENOFA 私たちはサッカーレノファ山回のスポンサーです!

未来のスターキッズ☆



有福 こうたろう君 (柳江市/小6)

- ★将来の夢...考之中
★好きな選手... (日本代表) 川島永嗣選手
★レノファ山口憧れ選手... 田村隆生選手

